

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

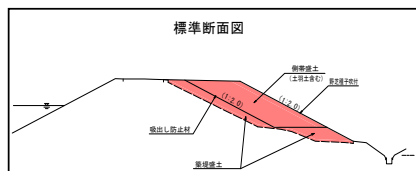
最上川下流・赤川 大規模氾濫時の減災対策協議会の取組【H28年度実施状況】

堤防の浸透対策【最上川下流】

実施機関：東北地整 酒田河川国道事務所

実施時期：平成28年11月28日

・洪水を安全に流すためのハード対策として、**最上川下流 大川渡地区において堤防浸透対策工事**が完成しました。



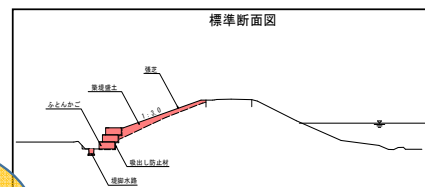
▲完成後

堤防の浸透対策【赤川】

実施機関：東北地整 酒田河川国道事務所

実施時期：平成29年3月14日

・洪水を安全に流すためのハード対策として、**赤川 文下地区において、堤防浸透対策工事**が概成しました。



▲完成後

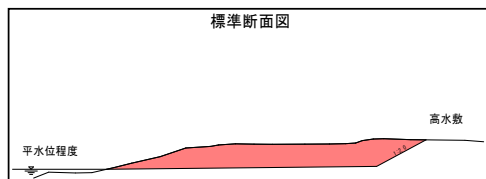
ハード対策

河道掘削等【赤川】

実施機関：東北地整 酒田河川国道事務所

実施時期：継続中

・洪水を安全に流すためのハード対策として、**赤川 助川地区において河道掘削工事**を実施しています。



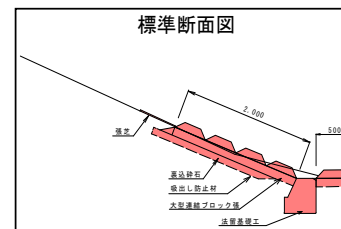
▲完成後

堤防裏法尻の補強【赤川】

実施機関：東北地整 酒田河川国道事務所

実施時期：継続中

・危機管理型ハード対策として、**赤川 助川地区において堤防裏法尻の補強**を実施しています。



▲完成後

最上川下流・赤川 大規模氾濫時の減災対策協議会の取組【H28年度実施状況】

市町村長を対象とした防災危機管理トップセミナーの開催

実施機関：山形県、消防庁、
一般財団法人消防防災科学センター

実施時期：平成28年5月23日

・「平成28年度山形県防災・危機管理トップセミナー～山形県市町村長防災危機管理ラボ～」と題し、**県内35市町村長(代理も含む)の他、国や県、市町村の防災危機管理担当者も含め計117名の参加**をいただき開催しました。



▲トップセミナー開催の様子

多様な手段による住民への確実な避難情報等の伝達の実施

実施機関：酒田市

実施時期：平成28年7月28日～

・洪水発生時や災害時等に、地域のリーダーとなる**自治会長やコミュニティ振興会長及び事務局長にいち早く対応していただくために、防災ラジオの貸与**を図った。
・緊急時には、防災行政無線とともにコミュニティFM放送を通して自動起動により緊急放送が流れる。



▲酒田市防災ラジオ

ソフト 対策

一時避難場所としての民間施設使用に関する支援協定締結

実施機関：鶴岡市、(株)庄交コーポレーション

実施時期：平成29年2月22日

・風水害やその他の大規模な災害が発生した場合、**観光客や帰宅困難者等が一時的に避難する場所として、民間の施設を使用することを目的とした支援協定の締結**。

協定における避難場所：
東京第一ホテル鶴岡、S-MALL



▲締結式の様子

非常用電源装置の設置

実施機関：三川町

実施時期：平成28年12月7日

・洪水発生時に、庁舎における**非常用電源装置の水没を防ぐため、約2.5mの架台の上に整備**しました。



▲発電機設置状況

最上川下流・赤川 大規模氾濫時の減災対策協議会の取組【H28年度実施状況】

避難訓練と避難所開設運営訓練を実施

実施機関：庄内町

実施時期：平成28年8月28日

- ・清川地区は高齢化率が高く、自力で避難することが困難な方が比較的多い地域で、大雨により最上川対岸の成興野(旧松山町)の土砂が崩れると国道47号を最上川の水や土砂が越水し、地区に流入するとハザードマップ等で周知をしている地区です。
- ・**防災行政無線による避難勧告を受けての自主防災会と消防団員が協力した避難訓練と避難所開設運営訓練を実施しました。**



▲リヤカー等を活用した避難の様子

想定最大規模降雨による浸水想定区域図等を公表

実施機関：東北地整 酒田河川国道事務所

実施時期：平成28年5月31日(赤川)
平成29年1月20日(最上川)

【最上川・赤川】

- ・減災の取組の一環として、市町長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難に役立つよう、**赤川、最上川において、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域を公表しました。**



▲洪水浸水想定区域等の公表(酒田市周辺の例)

水害・土砂災害の備えに関する要配慮者利用施設管理者向け説明会

実施機関：山形地方气象台、東北地整、山形県

実施時期：平成29年2月16日(酒田会場)
22日(三川会場)

- ・**要配慮者利用施設の管理者等を対象に、水害・土砂災害の備えに関する説明会を開催しました。**
- ・防災気象情報や洪水予報、土砂災害警戒情報の意味と入手方法等の説明を実施。
- ・参加者

酒田会場:59名(うち管理者50名)

三川会場:91名(うち管理者81名)



▲三川会場の様子(2月22日)

ソフト対策

簡易水位計の設置完了

実施機関：東北地整 酒田河川国道事務所

実施時期：平成29年3月24日

- ・水害リスクの高い危険箇所^①に簡易水位計を設置。
最上川下流管内：9箇所
赤川管内：5箇所
避難勧告発令の判断材料として各自治体に観測水位を提供する。



▲水位計変換器・回転灯

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ハード対策

①洪水氾濫を未然に防ぐ対策

堤防の浸透対策【最上川下流】

【実施状況】

実施項目 大川渡地区において、堤防の浸透対策が完了

完了時期 平成28年11月28日

実施機関 東北地整（酒田河川国道事務所）

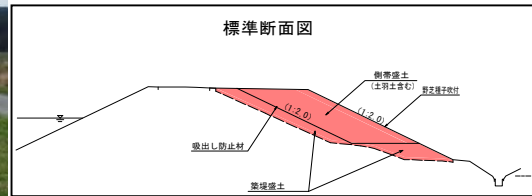
実施内容

- 洪水を安全に流すためのハード対策として、最上川下流 大川渡地区において堤防浸透対策工事が完成しました。

位置図



▲着手前



▲施工中



▲完成後

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ハード対策

①洪水氾濫を未然に防ぐ対策

堤防の浸透対策【赤川】

【実施状況】

実施項目 文下地区において、堤防の浸透対策が概成

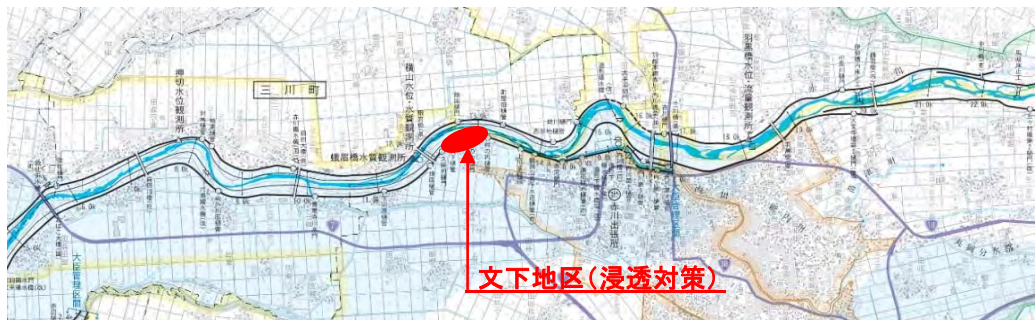
完了時期 平成28年3月14日

実施機関 東北地整（酒田河川国道事務所）

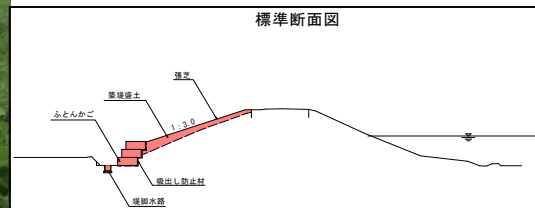
実施内容

- 洪水を安全に流すためのハード対策として、赤川 文下地区において、堤防浸透対策工事が概成しました。

位置図



▲着手前



▲施工中



▲完成後

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ハード対策

①洪水氾濫を未然に防ぐ対策

河道掘削【赤川】

【実施状況】

実施項目 助川地区において、河道掘削を鋭意施工中

完了時期 継続中

実施機関 東北地整（酒田河川国道事務所）

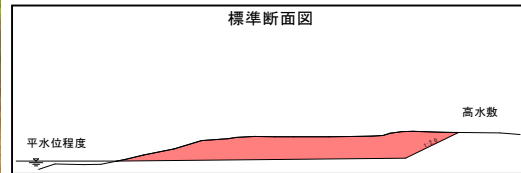
実施内容

- 洪水を安全に流すためのハード対策として、赤川 助川地区において河道掘削工事を実施しています。

位置図



▲着手前



▲施工中



▲完成後

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ハード対策
②危機管理型ハード対策
堤防裏法尻の補強【赤川】

【実施状況】

実施項目	助川地区において、堤防裏法尻の補強を鋭意施工中
完了時期	継続中
実施機関	東北地整（酒田河川国道事務所）

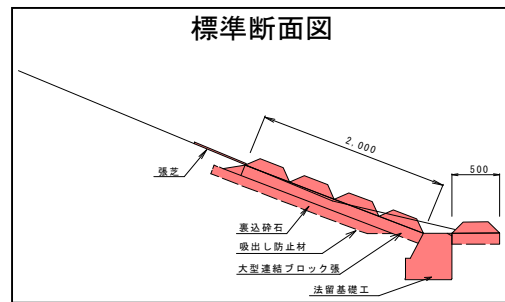
実施内容

- ・危機管理型ハード対策として、赤川 助川地区において堤防裏法尻の補強を実施しています。

位置図



▲着手前



▲施工中



▲完成後

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ハード対策
③避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
水害リスクが高い箇所に簡易水位計の設置

【実施状況】

実施項目	簡易水位計の設置の完了
実施時期	平成29年3月24日
実施機関	酒田河川国道事務所
実施内容	<ul style="list-style-type: none">水害リスクの高い危険箇所に簡易水位計を設置。 最上川下流管内に9箇所、赤川管内に5箇所設置。 避難勧告発令の判断材料として各自治体に観測水位を提供する。  <p>水位計変換器・回転灯</p>  <p>水位計センサー部</p>

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ハード対策
③避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
庁舎の非常用発電機の整備及び耐水性の確保

【実施状況】

実施項目	非常用電源装置の設置が完了
実施時期	平成28年12月7日
実施機関	三川町
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・洪水発生時に、庁舎における非常用電源装置の水没を防ぐため、約2.5mの架台の上に整備しました。 

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策

①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【洪水時】

■ 情報伝達、避難計画等に関する取組

スマートフォンを活用した洪水予報等、リアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信・機能向上、住民へのPR

【実施状況】

【具体的な実施状況】

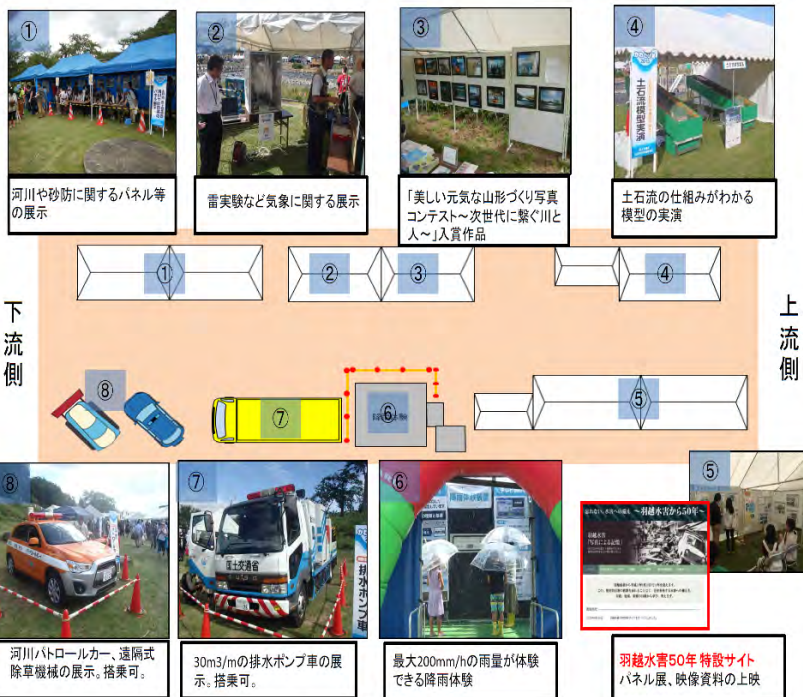
実施項目 河川砂防情報のPR活動（かわとびあ2016in山形）

実施時期 平成28年9月18日

実施機関 山形県

実施内容 毎年9月、河川・ダム事業の役割や防災、河川愛護の意識醸成を目的に開催している「かわとびあ」において、河川砂防情報のPR活動を実施しました。

かわとびあ2016in山形 会場案内図



▲かわとびあの様子

▲水害・土砂災害に関するアンケートの様子

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策
①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【洪水時】 ■情報伝達、避難計画等に関する取組 タイムラインの策定及び訓練の実施、精度向上の検討

【実施状況】

実施項目	避難訓練と避難所開設運営訓練を実施
実施時期	平成28年8月3日
実施機関	山形県、鶴岡市、第六学区コミュニティ、町内会（みどり町、新海町）
実施内容	・赤川の支川青龍寺川の氾濫を想定して、第六学区の2つの町内会（みどり町、新海町）の皆さんから避難訓練と避難所開設運営訓練を実施しました。 ・情報伝達訓練 ・住民避難・誘導訓練 ・避難所開設・運営訓練



避難者の受付の様子(避難所)



避難者の救護の様子



防災資機材の設置状況

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策

- ①自主防災会が中心となった避難誘導訓練【大雨による土砂災害警戒情報発令時】
■情報伝達から、実際に要配慮者を含む避難訓練を実施することで、集落内の住民避難に要する時間を体感し、発災時のいち早い避難行動の精度向上につなげる。

【実施状況】

実施項目	避難訓練と避難所開設運営訓練を実施
実施時期	平成28年8月28日
実施機関	庄内町、庄内町消防団、清川地区の14自主防災会

- 実施内容
- ・清川地区は高齢化率が高く、自力で避難することが困難な方が比較的多い地域で、大雨により最上川対岸の成興野（旧松山町）の土砂が崩れると国道47号を最上川の水や土砂が越水し、地区に流入するとハザードマップ等で周知をしている地区です。
 - ・防災行政無線による避難勧告を受けての自主防災会と消防団員が協力した避難訓練と避難所開設運営訓練を実施しました。



リヤカー等を活用した避難の様子



避難者救護の様子(広域避難所内)

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策

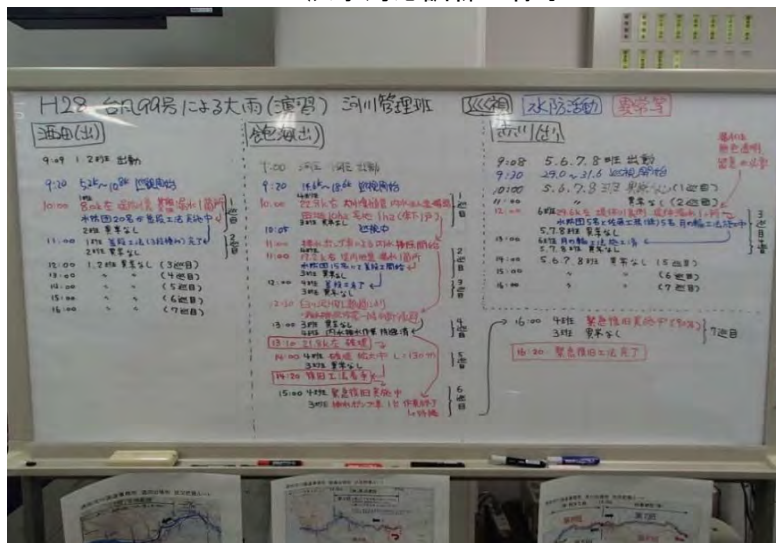
- ①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【洪水時】
- 情報伝達、避難計画等に関する取組
 - タイムラインの策定及び訓練の実施、精度向上の検討

【実施状況】

実施項目	洪水対応演習を実施
実施時期	平成28年5月27日
実施機関	鶴岡市、酒田市、庄内町、山形県、気象台、東北地整
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的な出水期を前に、洪水対応演習を実施しました。 ・水防警報、洪水予報等の防災情報について、関係機関等への伝達が迅速かつ的確に行われるかを最上川・赤川において実施しました。



▲洪水対応訓練の様子



▲ホワイトボードにて全体の状況を把握

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策

①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【洪水時】

■情報伝達、避難計画等に関する取組

想定最大規模降雨による浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図、浸水継続時間の公表

【実施状況】

実施項目 想定最大規模降雨による浸水想定区域図等を公表（赤川）

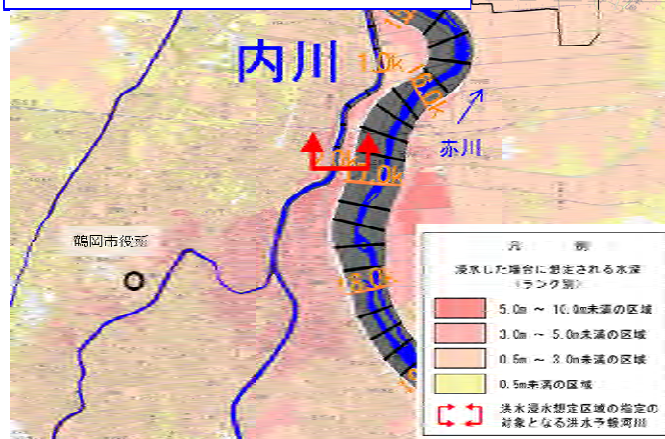
実施時期 平成28年5月31日

実施機関 東北地整

実施内容
 ・減災の取組の一環として、市町長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難に役立つよう、赤川水系赤川、大山川及び内川において、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域を公表しました。

○洪水浸水想定区域等の公表（鶴岡市周辺の

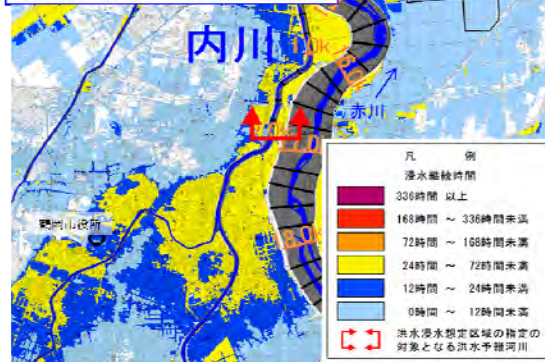
想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図



家屋倒壊等氾濫想定区域



想定最大規模降雨による浸水継続時間



「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策

①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【洪水時】

■情報伝達、避難計画等に関する取組

想定最大規模降雨による浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図、浸水継続時間の公表

【実施状況】

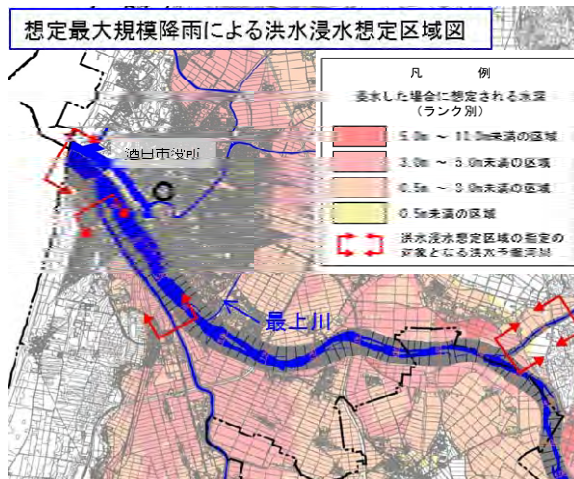
実施項目 想定最大規模降雨による浸水想定区域図等を公表（最上川）

実施時期 平成29年1月20日

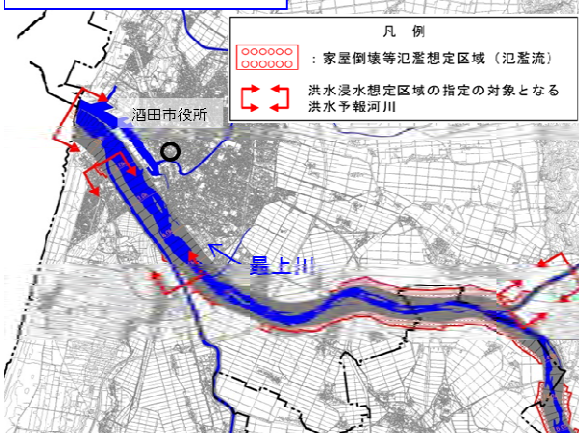
実施機関 東北地整

実施内容
 ・減災の取組の一環として、市町長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難に役立つよう、最上川水系最上川、京田川及び相沢川において、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域を公表しました。

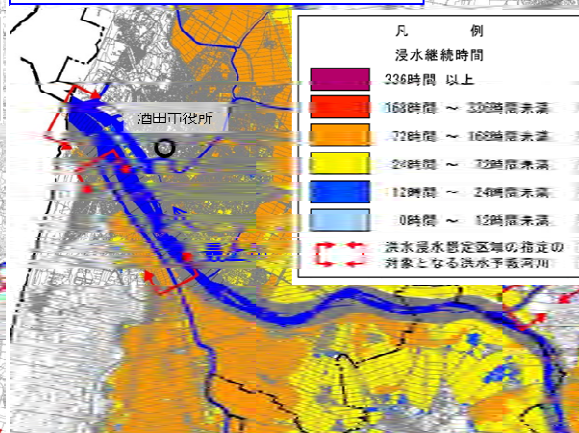
○洪水浸水想定区域等の公表（酒田市周辺の例）



家屋倒壊等氾濫想定区域



想定最大規模降雨による浸水継続時間



「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策
①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【洪水時】 ■情報伝達、避難計画等に関する取組 想定最大規模の洪水でのハザードマップの作成、周知

【実施状況】

実施項目	地域・地区において意見交換会を開催
実施時期	H28.9～H29.2
実施機関	鶴岡市
実施内容	<p>国土交通省による浸水想定区域図の見直しを受けて、平成13年度に作成しました、赤川の洪水ハザードマップの見直し作業を行っています。地域住民への説明として、想定し得る最大規模の降雨による、赤川氾濫時の浸水域・浸水深・浸水継続時間などの内容について説明するとともに、洪水ハザードマップの避難所の設定を確認しています。</p> <p>鶴岡・藤島・羽黒・櫛引・朝日地域において、計50回程度の意見交換会を開催しています。</p>



意見交換会の様子

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ハード対策
①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【洪水時】
多様な手段による住民への確実な避難情報等の伝達の実施

【実施状況】

実施項目	多様な手段による住民への確実な避難情報等の伝達の実施
実施時期	平成28年7月28日から
実施機関	酒田市
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・洪水発生時や災害時等に、地域のリーダーとなる自治会長やコミュニティ振興会長及び事務局長にいち早く対応していただくために、防災ラジオの貸与を図った。・緊急時には、防災行政無線とともにコミュニティFM放送を通して自動起動により緊急放送が流れる。 <div data-bbox="395 974 1168 1541" data-label="Image"></div> <p style="text-align: center;">酒田市防災ラジオ</p>

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策

①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【平時】

■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

出水期までのトップセミナー及び地域住民が参加する共同点検、水害リスクの周知の

【実施状況】

実施項目 町内会の研修会に参加し水害リスク等周知

実施時期 H28.5月・6月

実施機関 鶴岡市、町内会（長者町、朝陽町）

実施内容 町内会で実施している防災研修会へ参加し、鶴岡市の洪水対策について説明しました。

（説明内容）

- ・洪水ハザードマップ（赤川）の概要
- ・町内会の避難所の確認
- ・避難準備情報、避難勧告等の発令
- ・洪水災害における河川水位の対応行動
- ・赤川（羽黒橋観測所）におけるタイムライン など

（研修資料）

2. 本市における過去の災害状況（平成25年7月18日）

市内に大雨 鶴岡市で1時間雨量64.5ミリ 観測史上最大記録（過去100年間の観測中）
市内地方は18日、低気圧の影響で本朝から雷を伴った大雨となり、山形地方気象台によると、鶴岡市では同日午前高潮のほまでの雨の総量は64.5ミリを記録。1956年の観測史上最大の記録的な豪雨となったことの影響で、市内の各地で激しい洪水や小規模な土砂崩れ、民家の床上・床下浸水が相次ぎ、交通機関が乱れた。18日の朝陽町小と朝陽六小は臨時休校の措置を取った。同気象台によると、19日正午から19日午前11時までの48時間以内は鶴岡市で最大で46.2ミリ、朝陽町で15.2ミリ、合計雨量が61.4ミリを記録。市内地方などに大雨、洪水警報をだし、土砂災害や河川の増水、氾濫などに警戒を呼びかけている。



3. 避難準備情報、避難勧告等の発令による避難行動

【避難準備情報】

要配慮者（※）など、避難に時間がかかる方は、避難を開始。通常の避難ができる方は、気象情報に注意し、家族との連絡や非常用品の用意など、避難準備を開始。

【避難勧告】

通常の避難ができる方は、決められている避難所への避難を開始。

【避難指示】

避難中の方は、すぐに避難を完了する。また、外が危険な場合は、自宅や近くの建物の2階などに避難し、屋内で安全確保する。

※ 要配慮者：高齢者、障害者、乳幼児その他災害時に配慮を要する者

4. 洪水災害における河川水位の対応行動

それぞれの水位観測所では、河川水位に応じて、避難の準備や避難などの目安となる対応行動を定めている。



「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策
①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【平時】 ■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 出水期までのトップセミナー及び地域住民が参加する共同点検、水害リスクの周知の

【実施状況】

実施項目	地域住民等が参加して共同点検を実施
実施時期	平成28年5月31～6月3日
実施機関	鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、山形県、東北地整

実施内容	<ul style="list-style-type: none">・洪水時に迅速かつ的確な水防活動の実施を図り、災害を未然に防ぐための取り組みとして、重要水防箇所を点検を実施しました。・市町や水防団などの関係機関並びに沿川自治会（住民代表）とて、延べ200人参加しました。
------	--



▲合同点検の様子(酒田市)



▲合同点検の様子(鶴岡市)

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策
①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【平時】 ■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 出水期までのトップセミナー及び地域住民が参加する共同点検、水害リスクの周知の実施

【実施状況】

実施項目	市町村長を対象とした防災危機管理トップセミナーの開催
実施時期	平成28年5月23日
実施機関	主催) 山形県、消防庁、一般財団法人消防防災科学センター

実施内容	<ul style="list-style-type: none">・「平成28年度山形県防災・危機管理トップセミナー～山形県市町村長防災危機管理ラボ～」と題し、県内35市町村長（代理も含む）の他、国や県、市町村の防災危機管理担当者も含め計117名の参加をいただき開催しました。・災害経験首長による講演として、新潟県見附市の久住時男市長から「2度の水害における見附市の対応について」と題し、1度目の水害での教訓から2度目の水害被害を最小限にとどめたこと、災害時における市町村長がなすべきことなどについて講演をいただきました。
------	---



▲トップセミナー開催の様子



▲新潟県見附市の久住時男市長の講演の様子



▲聴講者から質疑の様子
(質疑者:南陽市長)

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策

- ①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【平時】
 - 一時的な避難場所の確保としての民間施設活用
民間施設との協定締結

【実施状況】

実施項目 一時避難場所としての民間施設使用に関する支援協定締結

実施時期 平成29年2月22日

実施機関 鶴岡市、(株)庄交コーポレーション

実施内容

風水害やその他の大規模な災害が発生した場合、観光客や帰宅困難者等が一時的に避難する場所として、民間の施設を使用することを目的とした支援協定の締結。

協定における避難場所：東京第一ホテル鶴岡、S-MALL



「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策
①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【平時】 ■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 小中学校等における出前講座、水害教育、避難訓練の実施

【実施状況】

実施項目	防災教育を実施
実施時期	平成28年5月9日
実施機関	鶴岡市、東北地整
実施内容	<p>・防災・河川環境教育の充実に係る取り組みとして、教育委員会及び小学校と連携して、防災教育を実施しました。</p>  <p>防災教育の実施(H28.10.18:鶴岡市立朝陽第五小学校)</p>

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策

- ①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【平時】
- 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
 - 小中学校等における出前講座、水害教育、避難訓練の実施

【実施状況】

実施項目	小学校へ「川の安全利用パンフレット」配布
実施時期	平成28年5月9日
実施機関	山形県
実施内容	・河川の安全利用等を啓発するため、県内の小学校3～6年生を対象に「川の安全利用パンフレット」を40.6千部配布しました。



川の安全利用パンフレット

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策

- ①住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション【平時】
- 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
 - 避難行動要支援者等のスムーズな避難誘導體制の整備

【実施状況】

実施項目	町内会ごとの防災マップ作成
実施時期	H28.10月
実施機関	昭和町第三町内会（鶴岡市）
実施内容	<p>・鶴岡市では「鶴岡市住民自治組織ステップアップ事業補助金」により、住民自治組織自らが、地域における問題の解決や課題の達成、若しくは魅力ある環境づくりに向け、新たに取り組む地域づくり事業を支援しています。</p> <p>その事業を活用して、昭和町第三町内会において、</p> <p>①住民の防災意識を高めることで、災害時における人的被害の減少</p> <p>②住民同士のコミュニケーションの場を増幅させること</p> <p>を目的に自主防災マップを作成、各世帯に配布し、災害時における避難行動が適切に行えるよう整備しています。</p> <p style="text-align: center;">（作成した防災マップ）</p>

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策
③一日も早く日常生活を取り戻すための排水活動の強化等の取組
■排水活動の強化、施設運用に関する取組
排水計画の策定及び排水訓練の実施

【実施状況】

実施項目	排水訓練を実施
実施時期	平成28年5月19日
実施機関	東北地整
実施内容	<p>・洪水時の内水の発生に備え、円滑な排水活動とするため、排水訓練を実施しました。</p>   <p>▲排水訓練の様子</p>

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 最上川下流・赤川流域の減災に係る取組方針

平成28年度実施状況

【概ね5年で実施する取組】

ソフト対策
①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーション（洪水時） ■情報伝達、避難計画等に関する取組 近隣市町との避難に関する検討・調整

【実施状況】

実施項目	水害・土砂災害の備えに関する要配慮者利用施設管理者向け説明会
実施時期	平成29年2月16日（酒田会場）、22日（三川会場）
実施機関	山形地方气象台、東北地整、山形県

実施内容

- ・要配慮者利用施設の管理者等を対象に、水害・土砂災害の備えに関する説明会を開催しました。
- ・防災気象情報や洪水予報、土砂災害警戒情報の意味と入手方法等の説明を実施。
- ・参加者 酒田会場：59名（うち管理者50名）



酒田会場の様子（2月16日）



三川会場の様子（2月22日）



説明状況（東北地整）